

社団法人三重県歯科医師会の取組

平成21年度の取組と成果

1. 地域における口腔保健の推進を目的とした「地域8020運動推進協議会」を四日市、津、松阪、南勢志摩、尾鷲、南紀、伊賀の7つの圏域において計11回開催しました。
2. 歯の衛生週間事業を通じて口腔の健康に関する啓発活動を行いました。
 - ・母と子のよい歯のコンクール
 - ・よい歯の児童生徒の審査並びに表彰
 - ・歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール
 - ・歯科医師会各支部が実施する歯の衛生週間事業並びに無料健診・相談など
3. 学校歯科保健活動のさらなる推進のため学校歯科保健研修会を行いました。
4. 学校歯科保健関係者を対象とした講習会を「歯科における児童虐待防止と発達障害」をテーマに開催し、102名が受講しました。
5. 6歳臼歯保護育成の観点から、フッ化物洗口の正しい知識と適切な実践方法を広く普及するとともに、生活習慣の改善を図ることを目指し、県内7か所のモデル施設を設定し、303名の幼児を対象にフッ化物洗口推進事業を行いました。またその多くの施設で、フッ化物洗口を継続することになりました。
6. 三重県の主催する「子育て応援わくわくフェスタ」などに協力し、多くの参加者に歯科啓発事業を行い、1,528名の歯の健康度得点のアンケートをとりました。
7. 桑名市で開催した第14回三重県歯科保健大会では、80歳以上で20本以上歯を維持している方を対象にしたコンクールの優秀者を表彰しました。県下各地より362名もの8020達成者の応募があり、応募者に対するアンケート調査を実施したところ、8020達成者は全身的にも健康であり、QOLも高いというデータを得ました。
8. 専門的口腔ケア（歯科保健指導、専門的口腔清掃、摂食機能訓練）による口腔ケア推進支援事業を県下11施設、231名を対象に行いました。
9. 健康高齢者の健康、維持・増進・健康寿命の延伸を目指し「介護予防」「口腔機能の向上支援」というテーマで歯科医師だけでなく、介護関係者、行政、一般市民をも対象とした研修会を2回、さらに訪問歯科診療体制推進を目指し研修会1回を開催、合わせて378名が受講しました。
10. 三重県における障がい児（者）歯科保健医療の充実を目指したネットワーク構築のため、「みえ歯ートネット」運営協議会を設立しました。

平成22年度の取組

口腔の健康は、食生活やコミュニケーションの充実のために重要な役割を果たすだけでなく、口腔が健康な方は高齢になっても全身的にも健康でQOLも高いことが明らかになっています。

80歳で20本以上の歯を残そうという「8020（はちまるにいまる）運動」は、生涯を通じた健康づくりの取組みを実践することにより、健康で幸せな日常生活を送ることを目指した運動です。歯科医師会は8020運動を通じて、県民の皆様の健康増進のために

次のように取組みます。

1. 地域保健活動

- ・地域における口腔保健の推進のために「地域8020運動推進協議会」を7地域で開催し、地域性を踏まえた保健対策の実現を目指します。
- ・歯の衛生週間に関連して、歯・口腔の健康に関する各コンクールや無料健診・健康相談などを実施し、県民の口腔の健康づくりを推進します。
- ・県民の方々の口腔の健康づくり意識の高揚のために第15回三重県歯科保健大会を開催します。
- ・住民に対する訪問歯科診療と口腔ケアによる介護予防事業が円滑に行われるよう他職種医療関係者と連携体制づくりを進めるとともに、人材育成のため研修会を開催します。

2. 学校歯科保健活動

- ・三重県の児童生徒のう蝕罹患状況は、年々減少の傾向にありますが、全国と比較すると、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の全ての区分で上回っています。また、今まで行ってきた6歳臼歯保護育成事業の評価のため、学校歯科健診のデータの集積と評価方法を再考し、児童生徒のう蝕罹患状況を詳しく把握し、効果的なう蝕対策を実現します。これらを実現させるために、学校歯科医への研修会の開催や教育委員会、学校保健会と連携した学校歯科保健の推進を行っていきます。
- ・生きる力を育む教育を歯科医師として支えていきます。歯科保健教育は、食育に直結するものであり、食育支援をしていきます。

3. 歯周疾患予防対策事業

- ・成人が歯を失う原因の第一位は歯周病です。成人歯科健診の実施を推進し、受診者の保健行動変容、口腔内状況の改善に繋げることで歯周病等の生活習慣病の予防に努めます。

4. 障がい者歯科センター活動

- ・歯科医師会では心や身体に障がいのある方々のために歯科診療室を設け、歯科疾患に対する予防、治療と管理およびそれらによる健康の保持・増進を目的とし活動を行っております。今後は地域の歯科診療所とのネットワークを構築し、地域で安心して歯科医療の受診ができるように、受診者にとっての利便性の向上を目指します。